

☑️☑️ デイケア便り ☑️☑️

4月から、リハビリテーション会議が始まりました。
ご利用者本人、医師、リハビリ職員、看護師、介護士が参加しています。

(※現在はコロナ禍のため最小人数で開催しています)



リハビリテーション会議で話し合った内容を元に各個人にあったリハビリを提供しています。

嚥下訓練
・呼吸練習
・発声練習

運動前のストレッチ

歩行訓練
・階段昇降
・平行棒内歩行
・屋外歩行

マシーン訓練
・レッグプッシュ
(脚の強化訓練)
・エルゴメータ
(自転車)

・頭の体操
・手指の訓練

施設理念『キリストの愛を原点に全人的ケアを目指します』

社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス



グレイス新聞

【2021年度 夏・秋号(2021/10/11)】



<開設26周年記念 永年勤続表彰者>

10月1日にグレイス開設26周年記念として永年勤続表彰者に感謝状をお渡ししました。
(勤続25年1名、15年9名、10年2名、5年4名 計16名)
本部の方よりコロナ禍での働きに感謝と励ましの言葉を頂きました。

また、10月1日より施設長が出口昌子となりました。新しい体制での出発に相応しい時となりました。

2021年 救世軍標語 「主によって練られ、備えよう」

『彼は精錬する者、銀を清める者として座し レビの子らを清め 金や銀のように 彼らの汚れを除く。彼らが主に献げ物を 正しくささげる者となるためである。』
マラキ書3章3節

発行者：社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス
発行人：出口 昌子 編集責任：黒木 成人
電話：03-3380-1248 HP アドレス：<https://grace@salvationarmy.or.jp/>

グレイスでもSDGsについて会議で話し合い、何かできないか？意見を取りまとめている最中です。

SDGs（持続可能な開発目標）とは、“2030年までに達成すべき17の目標”

「SDGs（エスディージーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。



「職場でできること」

- **電気を節約する**：使っていないときは電源を完全にオフにして節約を心がける。使用のたびにコンセントを抜くのは大変なので、電源タップに差し込んでオンオフするのが便利だ。照明も、日中明るいときは消すようにするなど、必要のない電気は使わないようにする。
- **ムダな印刷はやめる**：必要のない印刷は紙をムダにするので控える。印刷を用いて管理する必要がある場合は、メモやデジタル付箋で代用するのがおすすめだ。紙の節約は森林の破壊を防ぐことにつながるだろう。
- **支払いはオンラインを使う**：支払いを請求書で行うと紙を消費することになる。支払いはオンライン上で済ませるのがスマートだ。オンラインやモバイルなら、自宅にいながら支払いも実行できる。
- **環境の取り組みを実施している企業の製品を買う**：オンラインで検索すると、企業が持続可能で環境にやさしい取り組みを実行しているか確認できる。環境保護のためにも、環境に良い取り組みを行っている企業の商品を選択するのが良い。
- **施設内の冷暖房は省エネ型にする**：少しでも環境に配慮するため、施設内の冷暖房装置は省エネ型を取り入れるよう心がける。
- **職場での差別に声をあげる**：SDGsでは、人はみな不平等であってはならないとしている。だからこそ、本質的に同等であるよう努力しなければならない。性別、人種、身体能力、社会的背景、ジェンダー、どのようなことであれ、差別には声を上げることが重要だ。
- **通勤方法を考える**：通勤方法は、できるだけ環境に配慮した方法にする。自転車や徒歩、公共交通機関での移動がベストだ。自動車での移動は、乗り合わせや大人数で移動するときに限定する。

※上記以外でも取り組める内容を職員から募集中です。

グレイス祭り

例年9月にグレイス祭りを実施していますが、昨年同様、コロナの影響でご家族や近隣の方を招いての祭りは自粛致しました。施設内ではフロアごとで楽しみました。



2階に機械浴が入りました。

2階の浴室に機械浴槽が導入されました。当施設は長年「個浴」を推進しておりましたが、利用される方の重度化に伴い、2年前に3階へ機械浴を導入。今回2階に導入されました。

まずは、気持ちよく入浴して頂く事を最優先に考えています。そして職員への負担軽減の為でもあります。

